

週刊住宅

2018年(平成30年)10月1日号
NO. 2831 (毎週月曜日発行)

に向けて月1回ほど管理状況を発送するが、その中にコンサルタント日記がある。当社アセットコンサルタントが順番に原稿を書いているが、以前私が担当したときには、「シェアハウスの真実、30年一括サブリースの裏側」というタイトルで日記を書いていた。スマートデイズのかばちゃん馬車の無謀なシェアハウス

CFネット流 新・大家 実践塾

35 利回り追求よりも安定運用

企画はいずれ破綻し、サブリース賃料の支払い停止に手掛ける私たちにしてみれば手に取るようにわかる。前回の記事やブログなどで以前から警鐘を鳴らしておいたものの、いつの時代も高利回りなどいろいろな投資話に乗ってしまい、被害に合ってしまう人は、残念ながら必ずいる。約800棟ものシェアハウスを販売し、オーナーは700人以上とも言われ、多くがフルローン近く借り入れをしているだろうから1棟1億で800億もの融資実行額があったことになる。

これにより800億円

今後アパートロー 現状でベス

ト

他人事ではなく私たちに
とっても問題となるのが、
金融機関の融資姿勢だ。例
えば、ある投資家が一般的
なアパート融資をA銀行か
ら1億円借りたとする。そ
の後、さらに効率よく規模
を拡大するために2棟目は
かぼちゃの馬車のシェアハ

今後アパートローンに大きく影響

現状でベストな不動産投資を

八

企画はいずれ破綻し、サブリース賃料の支払い停止に手掛ける私たちにしてみれば手に取るようにわかる。前回の記事やブログなどで以前から警鐘を鳴らしておいたものの、いつの時代も高利回りなどいろいろなアパート融資をA銀行から1億円借りたとする。その後、さらに効率よく規模を拡大するために2棟目はかぼちゃの馬車のシェアハシに乗ってしまい、被害に合ってしまう人は残念ながら必ずいる。約800棟ものシェアハウスを販売し、オーナーは700人以上とも言われ、多くがフルローン近く借り入れをしているだろうから1棟1億で800億もの融資実行額があったことになる。

これにより800億円

今後アパートロー 現状でベス